



大正初期の興福寺東金堂と「花の松」 大和名勝写真帖より



昭和40年11月 興福寺の後継の「花の松」 写真撮影：吉田守氏



現在の東金堂の前の「花の松の碑」

【5】興福寺の東金堂と「花の松」

- 大正初期の興福寺「花の松」
興福寺文殊堂（東金堂）の前に弘法大師手植えとされる名木「花の松」は雄大な姿で親しまれていた。
- 昭和40年11月 興福寺の後継の「花の松」
「花の松」は昭和12年に枯れ、昭和15年に後継の「花の松」が植栽され「花の松の碑」が建てられた。
- 現在の東金堂前の「花の松の碑」
後継の「花の松」も2008年に枯れて今は碑だけが残る。